

「宿泊施設と情報バリアフリー」セミナーのご案内

開催趣旨

昨年 12 月、ハートビル法と交通バリアフリー法を統合し、バリアフリー新法が施行されました。基本的には物理的なバリアの解消が中心で、軽度の難聴者を含めると約 600 万人以上の情報障害者=聴覚障害者は蚊帳の外に置かれています。合い言葉は「聴覚障害者にも配慮やサービスは平等に」。今回は、「日本福祉のまちづくり学会」などの後援を得て開催する「宿泊施設と情報バリアフリー」のご案内をいたします。会報などを通じて、会員の皆様に告知していただければうれしく存じます。

■主 催 社団法人 東京都聴覚障害者連盟
ベターコミュニケーション研究会

■後 援 日本福祉のまちづくり学会
財団法人 共用品推進機構
NPO 法人 東京都中途失聴・難聴者協会
社団法人 全日本シティホテル連盟

■テーマ 「宿泊施設と情報バリアフリー」

■日 時 2008 年 2 月 26 日 (火)、午後 1 時から 4 時半

■会 場 なかの ZERO 本館 視聴覚ホール [地下 2 階]

〒164-0001 東京都中野区中野 2-9-7 TEL03-5340-5000/FAX03-5340-5017

(JR 中央線・東京メトロ東西線「中野駅」南口徒歩 8 分)

<http://nicesacademia.jp/facility/index.html>



■内 容

●午後 1 時～3 時半 ゲストによるご報告

1 米国のホテルにおける情報バリアフリー事情報告

太田 琢磨氏 日本財団聴覚障害者海外奨学金事業 第一期生

元ロチェスター工科大学・国立聾工科大学留学生

2 「情報バリアフリーへの助成」の紹介

東京都産業労働局観光部

3 ホテルにおける情報バリアフリーの取り組み例と課題

秋元 昭臣氏 京成ホテル 前企画部長

中村 孝夫氏 京王プラザホテル 宿泊部部長

4 配慮することはプラス 共助方式のご提案

中園 秀喜 ベターコミュニケーション研究会

●午後 3 時半～3 時 45 分 休憩、内覧会

●午後 3 時 45 分～4 時半 ゲストおよび参加者による自由討論

司会 (予定・交渉中)・・・日本福祉のまちづくり学会

■参加対象者 ホテル・旅館関係者、行政関係者、聴覚障害関係者など

■情報保障 手話通訳およびパソコン要約筆記がつきます

